

会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1-42	令和6年度「第3回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和7年3月11日（火） 午後1時半から午後2時40分まで			
開催場所	すみだ保健子育て総合センター2階 カンファレンスルーム			
出席者数 (17人)	<p>【外部関係者】 渡邊清高、宮本幸雄、武井和彦、鴨川 大助、白石弘子、桜井なおみ、轟千代佳、駒場誠弥、椎名美恵子、高木恒子、風間利昭 （計11人） （欠席）福井一人（計1人） （敬称略）</p> <p>【部内関係者】 保健衛生担当次長（計1人）</p> <p>【事務局】 健康推進課長、健康推進課地域保健担当主査2人・健康推進課地域保健担当2人（計5人）</p>			
会議の公開	公開（傍聴できる） 非公開（傍聴できない）	部分公開（部分傍聴できる）	傍聴者数	0人
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 保健衛生担当次長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）専門部会の報告について</p> <p>（2）令和6年度のがん対策事業の実施状況について</p> <p>（3）第2期墨田区がん対策推進計画について</p> <p>（4）令和7年度のがん対策推進会議と専門部会について</p> <p>（5）その他</p> <p>4 閉会</p>			
配布資料	<p>【机上配布資料】</p> <p>1 令和6年度「墨田区がん対策推進会議」委員名簿</p> <p>2-1 令和6年度「がん検診精度管理部会」の報告</p> <p>2-2 令和6年度「がん対策推進計画策定部会」の報告</p> <p>3 令和6年度 がん対策事業の実施状況</p> <p>4-1 第2期墨田区がん対策推進計画について</p> <p>4-2 第2期墨田区がん対策推進計画</p> <p>4-3 第2期墨田区がん対策推進計画（概要版）</p> <p>4-4 若年がん患者在宅療養支援事業の概要</p> <p>5-1 令和7年度「墨田区がん対策推進会議」の概要（案）</p> <p>5-2 令和7年度「がん検診精度管理部会」の概要（案）</p> <p>6 ご意見・ご質問シート</p>			

<p>会 議 概 要</p>	<p>1 開会</p> <p>2 保健衛生担当次長挨拶 (省略)</p> <p>3 議事</p> <p>議題1. 専門部会の報告について</p> <p>－資料2「がん検診精度管理部会の報告」に基づき説明－</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長：今年度の精度管理部会の検討事項等の報告があった。いまの報告について意見・質問はあるか。国の指針に沿って精度管理指標を収集して改善しつつあるということと、いくつか指針に沿わないことについては、今後検討を進めるとのことだった。国の指針の方は肺がんの検診ガイドラインが改訂されるなどの動きがあるようなので、国や都の検討の状況を踏まえて検討することになる。</p> <p>渡邊会長：民生委員の高木委員に聞きたい。胃がん検診について、時期は未定とのことだが、対象年齢を40歳から50歳に引き上げたり、受診間隔を見直すということ、これは検診の法律等を踏まえてのことだが、このことについて何か意見はあるか。</p> <p>高木委員：来ない人は年齢が変わっても来ないので、変わってどうなるか試しにやってみるのもよいのではないか。それで不都合があれば元に戻すということもあってよいと思う。</p> <p>渡邊会長：対象の年齢の人にしっかりとアナウンスをするということ、今後勧奨の方法については個別勧奨の方法もあるし、元々検診のホットラインも展開されているということなので、必要な人にきちんと検診ができるとよい。</p> <p>－資料2-1「がん対策推進計画策定部会の報告」に基づき説明－</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長：策定部会については、この推進会議の多くの委員が兼任していた。新たな計画の策定に向けて、短い期間で活発に議論を重ねたと聞いている。後ほど第2期推進計画についても事務局から説明があるが、いまの報告について何か意見や質問等はあるか。</p> <p>(特になし)</p> <p>議題2. 令和6年度のがん対策事業の実施状況について</p> <p>－資料3に基づき説明『個別目標1』－</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長：主に検診・早期発見についての説明である。何か意見や質問はあるか。</p> <p>本所歯科医師会の武井委員に聞きたい。歯科医師会では、毎年、成人歯科健診や妊産婦歯科健診等を実施している。実際に禁煙などの啓発をしている中で、気づきの点などコメントをしてほしい。</p>
----------------	---

武井委員：墨田区の健診事業は拡大され、育メン歯科健診や成人歯科検診、後期高齢者歯科健診など幅が広がってきている。ということは、それなりにたばこ対策に対する周知度がアップしたと理解できる。健診事業が拡大しているのが現状。また、来年度も健診事業が拡大する予定なので、たばこ対策への周知度をアップしていると考えている。

渡邊会長：続いて、同じく向島歯科医師会の鴨川委員に聞きたい。

鴨川委員：武井委員が言ったように妊産婦歯科健診や成人歯科健診、その他の健診を通してたばこに対しての普及啓発をしている。また、健診以外でも通院している患者、患者の中でも禁煙外来を知らない患者もいるので、そういったものもあるということも周知している。

渡邊会長：いろいろな機会、検診、歯科健診で言っていくのは重要な機会と思う。

－資料3に基づき説明『個別目標2』－

【意見・質問等】

渡邊会長：胃がん検診について話した。いまの説明について、意見や質問はあるか。

渡邊会長：検診について東京商工会議所の風間委員に聞きたい。がん検診の受診率向上のために電子申請フォームの改善や、受診勧奨の拡充など、様々な取組の報告があったが、全体もしくは、商工会議所の従業員に対して、どのようなアプローチが受診率向上に効果的だと考えるか。

風間委員：今の報告にあった、がん検診の全てを選択できる方法について、ありがたいと思っている。検診について、区のものだけでなく、会社や健康診断で受けている部分は多いので、このときに他の医療機関で検診した報告もアンケートでとると受診率が上がるのではないかと。単発のがんで、例えば大腸とか肺とか胃とか、医療機関に行くと（他のがんについても）受診した方がいい、と今は丁寧に説明してくれるので、ありがたく思っているが、その前に会社などでやっている部分もあるので、そのアンケートも取った方が受診率が上がるのではないかと。

渡邊会長：職域との連携は大きなテーマになる。情報を共有するところで、末端の検診のつながりをするとか、別の情報を集約するというような形が今後進めばと思う。

事務局：会社で行っているがん検診等は区の方でも情報収集が足りていない部分がある。今後事業者向けのがん検診の案内冊子等を配り、会社で受けられないようなところがもしあれば、区のがん検診を進めてもらうことが、一つのがん検診の受診率向上にもつながると思う。また、風間委員の言っていた、医療機関で親切に案内しているとのことなので、医療機関や歯科診療所、薬局等でもがん検診の案内を積極的にしてもらえると、薬剤師や歯科医師など先生方から直接案内してもらえると受診もしようかと思ってもらえると思うので、受診勧奨の協力をもらいながら区としても進めていきたい。

渡邊会長：続いて、薬剤師会の白石委員に聞く。区が主催するがんイベントにおいて、薬剤師会としても禁煙についての相談コーナーを設置したり、各薬局でがん検診の

案内パンフレットを配布したりと、がん対策にも尽力していると聞いている。薬剤師会のがん対策について聞きたい。

白石委員：いろいろなパンフレットやポスターは薬局に配られているが、そのがん検診を受診してくださいと説明するまでは難しいと私自身の経験から思っている。イベント等ががんやたばこについての話はしているが、イベントに来てもらうことが難しいというか、人数が少ないので、今後多くの人に聞いてほしい。その方向で薬剤師会は動きたい。

－資料3に基づき説明『個別目標3・4』－

【意見・質問等】

渡邊会長：主に情報提供、普及啓発、そして在宅緩和ケアの関連の内容を説明した。今の説明について何か意見・質問等あるか。

渡邊会長：今の説明にもあった、賛育会病院緩和ケア科の駒場委員に聞く。在宅緩和ケア事業のなかでは、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）人生会議の緩和ケアを取り上げ講演会の周知なども行ったとのことだが、緩和ケアの現状を踏まえて、周知が必要なことなどについて意見や感想がほしい。

駒場委員：ACPと銘打つ形ではなく、また現場でそういう話が設けられているケースと設けられていないケースと様々と思うが、何か区としても意識を向けてもらうためのインフォームはできたらいいと常々思っている。国はその推進のポスター等が話題になっていた。治療の段階の最後、治療はこれで終える、訪問診療クリニックや緩和ケア病棟に紹介するという段階で、そういう話題が出てくると思うが、その前段階で、治療できる人できない人問わず、いずれそういう話題もあり得るということを印象付けるような何か、という啓発の方法が大事だ。

渡邊会長：いろいろな時期にこういった情報がうまく届くような形が必要と思う。続けて、椎名委員からも訪問看護関係ということで、専門職を対象とした研修会も行ったとのことだが、地域の医療介護関係の専門職に対しがんに関して働きかけが必要なことや、地域でがんの人を支援する体制として必要なことなど、意見があればほしい。

椎名委員：がんの患者に限らずACPのことは毎年多職種連携研修でも行い、意思決定や、今年は尊厳にフォーカスを当てたが、毎年同じような形でいろいろな職種の人と話し合いを続けている。また別に、NPOでがん患者の日ごろの維持という団体をやっているが、こちらでは区に会議室を借りたり、いろいろ協力してもらっている。新しい子どもセンターのデジタルポスターにも載せてもらい広報してもらっている。引き続き、普及啓発は大事なので、いい制度があっても利用してもらえなければ何にもならないので、普及啓発に励んでいきたい。

渡邊会長：いろいろな機会に目に触れる機会、接点があるといいと思う。

議題3：第2期墨田区がん対策推進計画について

－資料4-1～4-3「第2期墨田区がん対策推進計画について」に基づき説明－

【意見・質問等】

渡邊会長：第2期の推進計画について説明があった。いまの説明について、何か意見・質問等はあるか。ロジックモデルに沿って最終的なアウトカムを設定し、数値も最新のものに差し替えて示しているということだったが、よいか。

(特になし)

－資料4-4に基づき説明－

【意見・質問等】

渡邊会長：新たに始まる若年がん患者在宅療養支援事業ということで説明があった。いまの説明について、何か意見・質問あるか。

高木委員：ありがたいと思う。

渡邊会長：患者当事者の視点で話してほしいが、桜井委員はいるか。

(応答なし)

渡邊会長：轟委員からも意見がほしい。

轟委員：この分野はちょうど抜け落ちてしまっている部分で、患者会などでもどうにもならないというところで皆さん困っていたので大変助かる。

渡邊会長：多くの人にこの制度を知ってもらい、活用してほしい。他の委員から意見やコメント等あるか。

(特になし)

渡邊会長：若干の修正の上、引き続き事業については説明してもらおう。

議題4：令和7年度のがん対策推進会議と専門部会について

－資料5-1・資料5-2に基づき説明－

【意見・質問等】

渡邊会長：いまの説明について、何か意見・質問等あるか。

(特になし)

渡邊会長：それでは、来年度のがん対策推進会議と専門部会については、資料のとおり、承認してほしい。

(承認)

全体のまとめ

【意見・質問等】

渡邊会長：令和6年度のがん対策の報告をして、第2期の墨田区のがん対策推進計画ということで話した。全体を通して墨東病院の宮本委員から意見・コメント等がほしい。

	<p>宮本委員：ACPについてだが、当院でも積極的に多職種で関わっており、当院での治療内容、在宅等での治療に反映していくようにという働きかけを積極的に推進している。今後も成り行きを見守りたいので、各方面から指導お願いしたい。</p> <p>渡邊会長：本日準備のあった議事は以上。来年度は第2期の墨田区のがん対策推進計画の内容を実践していくスタートの年となる。今後、意見を踏まえて議論を深め、来年度以降の施策に反映できる部分は、反映してほしい。また、説明に会った通り、今回の会議をもって、会長として、委員としての2年間の任期が終了する。今年度は、計画の策定があり、墨田区の新たながん対策の方向性が着実に進められてきた。このような中、委員のそれぞれの立場での率直な意見があり、充実した議論ができたのではないかと。以上をもって本日の議事は全て終了とする。</p> <p>5. 閉会</p> <p>事務局：本日は、十分に意見を聞けなかった部分もあると思う。本日の議題について、意見・質問があれば、配っている資料6の「ご意見・ご質問シート」に記入して、3月21日（金曜日）までに、事務局まで送ってほしい。会長からも説明があったが、今回の会議により、委員の皆様の任期が満了となる。また、来年度以降の委員については、改めて、各団体に委員の推薦、個人には依頼する。以上で今年度第3回の墨田区がん対策推進会議を閉会する。</p>
所管課	保健衛生部 健康推進課 地域保健担当（電話 5608-8514）